

KDDIスマートドローンプラットフォームを活用した 伊那市ドローン物流サービス（1/3）

国内初の自治体運営によるドローン配送事業、 伊那市支え合い買物サービス「ゆうあいマーケット」

～ケーブルテレビで注文した食料などの日用品をドローンで中山間集落まで配送し、買物困難者を支援～

長野県伊那市は、ドローンによる商品配達を行う支え合い買物サービス「ゆうあいマーケット」を2020年8月5日から開始。

少子高齢化に伴う買い物困難者が増加する中、食料品などの日用品をケーブルテレビのリモコンで手軽に注文しドローンによる当日配送を実現することで、買い物困難者を支援するとともに、買物支援の担い手不足などの地域課題解決を図る伊那市のドローン物流サービスです。

自治体が運営主体となってドローン配送事業の本格運用を開始するのは、日本で初めての取り組みです。



配送用ドローンは、KDDIのモバイル通信ネットワークに対応し、目視外自律飛行、遠隔監視制御が可能なスマートドローンです。日用品など最大5kgまで積載し約7km離れた公民館までの配送を行います。

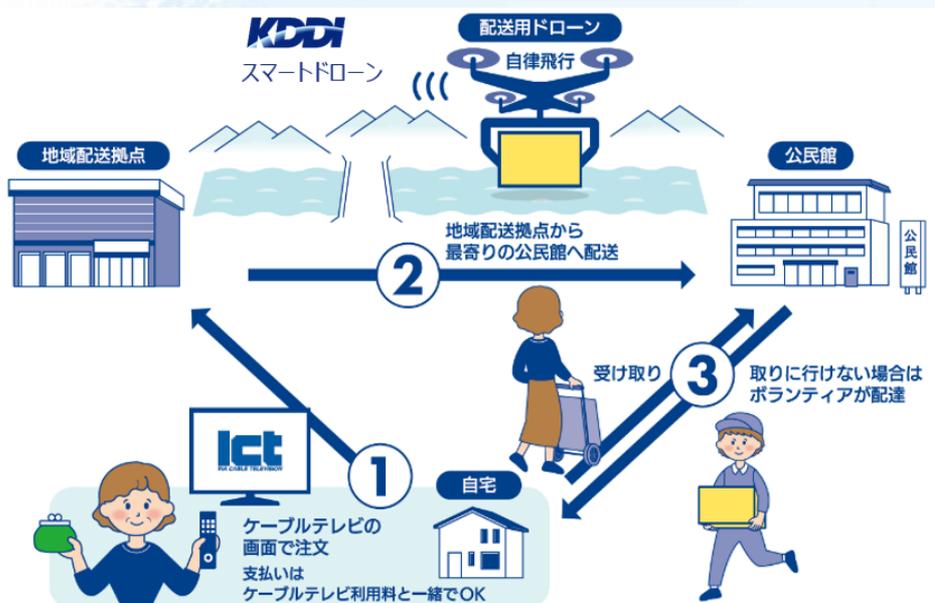
公民館からはボランティアが人の手で配送することで住民の見守りや地域コミュニティにもつなげています。

KDDIスマートドローンプラットフォームを活用した 伊那市ドローン物流サービス（2/3）

サービスの概要

本サービスは、ドローンによる配送だけでなく、利用者の見守りを行う集落支援員による陸送も実施する、新しいテクノロジーとマンパワーを融合したサービスです。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が広がる中で、山間部に住む高齢者を中心に、3密を避けた新たな買物の手段を確立できるため、今後の活用が期待されています。



- ①ケーブルテレビの画面で商品を購入します。午前11時までに注文を受けた商品は、その日の夕方には利用者宅へお届けします。
- ②注文された商品は、ドローンを使って近隣の公民館まで配送されます。ドローンで運ぶことのできない荷物については、軽自動車で運ばれます。
- ③利用者はドローンの着陸地点である近隣の公民館に荷物の受け取りに行きます。取りに行くことができない場合は、ボランティアが配達を行います。

KDDIスマートドローンプラットフォームを活用した 伊那市ドローン物流サービス（3/3）

スマートドローンプラットフォームの概要

KDDIは、モバイル通信を用いた遠隔監視/制御により、ドローンの目視外自律飛行を実現するスマートドローンプラットフォームを開発しています。今回は、そのプラットフォームを活用し、ドローン商用配送を実現しています。



配送に利用されるドローンは、KDDIのモバイル通信ネットワークに対応し、目視外自律飛行、遠隔監視制御が可能なスマートドローンです。本サービスは航空法に基づく「補助者無し目視外飛行」と「最大離陸重量25kg以上の無人航空機の機能及び性能」の承認下でのサービスとなります。